

科目名	現代社会論<各論> 「まちあるき」から社会を考える」		担当教員	鷲野 宏		
			担当形態	単独		
テキスト	適時資料を配布。	単位数 授業形態	4単位 (総論とあわせて)	演習	開講時期	通年

講義概要

■到達目標

- ・「まちあるき」から都市を見る目をもつこと。
- ・都市という現象と社会との関係を結びつけることができ、まちづくりについて議論できること。
- ・ものごとの成立の背景に、多様な価値観の存在を認識すること。

■授業の概要

この各論では、「まちあるき」を通して、都市という現象と社会との関係を考えます。都市に現れるデザインと時代との関係を探るためのいくつかの視点をもとにして、具体的な都市でのフィールドワークをおこない、両者の関係を体感していきます。体感をもとにグループワークによる議論・考察をおこない、考察した結果をまとめあげる作業をおこないます。運河をゆく船上からの視点やサウンドスケープ（音の風景）の視点も体験します。

■授業計画

- 第1回 都市を考えるための視点
- 第2回 運河からみるまちの体験「名橋たちの音を聴く」※5/13実施予定
- 第3回 ワークショップ：運河からみたまちについての議論と考察
- 第4回 都市づくりのしくみ（都市法・条例）
- 第5回 まちあるき：都市法からみる幕張新都心（計画されたまち）
- 第6回 ワークショップ：幕張新都心についての議論と考察
- 第7回 都市の比較
- 第8回 歴史的建築物の意匠と歴史的建造物の保存
- 第9回 まちあるき：日本橋～丸の内（歴史の積層されたまち）
- 第10回 ワークショップ：日本橋～丸の内のまちについての議論と考察
- 第11回 まちとアートの視点
- 第12回 モダニズム建築論
- 第13回 まちあるき：代官山ヒルサイドテラスと祝祭 ※10/8または10/9に実施
- 第14回 ワークショップ：代官山のまちについての議論と考察
- 第15回 作庭や日本建築にみられるサウンドスケープの視点
- 第16回 サウンドスケープ・ワークショップ
- 第17回 価値の積層としての都市・日本橋を多様な視点から考える
- 第18回 まちあるき・日本橋というまち（時代ごとに異なる価値観の集積としての都市）
- 第19回 ワークショップ：日本橋のまちについての議論と考察 1
- 第20回 ワークショップ：日本橋のまちについての議論と考察 2
- 第21回 ワークショップ：日本橋のまちについての議論と考察 3

■準備学習

フィールドワークの体験を通じて、まちのかたちと時代や制度との関係を調査・考察してくること

■評価方法

- ・フィールドワークレポート — 30%
- ・ワークショップでの議論の積極性等 — 40%
- ・ワークショップレポート — 30%

卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	特記事項	フィールドワークの一部は休日に実施。（雨天などで日程変更の可能性あり） フィールドワーク場所への交通費がかかります。 レポートは原則A4用紙1枚にまとめること。
		幼保	教養科目